

静岡県「“ふじのくに” エコロジー建築設計指針」について

質疑内容	回答
県発注物件には必須のものと考えてるのでしょうか？	県有建築物の新築、増改築は、原則として本指針の対象とします。
評価対象の規模については、建物の棟ごとの面積設定と考えるのでしょうか？	計画・設計する建物の延べ床面積の合計とします。

「環境にやさしい建築工事特記仕様書」について

質疑内容	回答
県発注物件には必須のものと考えてるのでしょうか？または任意で添付すればよいのでしょうか？	現在、県発注物件に採用して頂くよう県に要望中で、必須ではなく任意で広くお使い頂けるようお願い致します。

「工事監理チェックシート」について

質疑内容	回答
「地盤調査依頼シート」は誰が誰に対して、どんな目的で作成するのでしょうか？またどんなときに使用するのでしょうか？	地盤調査を依頼する場合に使用していただければよいかと思います。設計者が調査会社に、施工業者が調査会社に、設計者が施工業者にというように使用対象は状況に応じて変わってくると思います。

「木造標準図」について

項目	質疑内容	回答
3. 基礎	布基礎（地中梁）の巾を150mmの場合、布基礎芯と土台芯を合わせると、土台と布基礎のチリが大きくなり、外壁・水切り・外巾木（布基礎）の納まりが不格好になってしまうときがありますが、納まりを優先にして、布基礎の通り芯を若干偏心してもよろしいのでしょうか？	一般的な木造住宅規模の場合ならば、問題はないと思います。
	※人通口の補強（別紙メモ書き資料） 上部をなくしてしまう人通口で、人通口部を深く補強する場合の配筋仕様を教えてください。 （メンテナンスを考慮して各室にアプローチできるように人通口を設けると、スラブ筋を1mの範囲で補強する方法では、べた基礎の約7～8割の範囲になったことがあるので、人通口部を深く補強する方法について、詳しく知りたいです。）	参考となる標準納まりのようなものは無いと思います。日本建築学会の小規模建築物基礎設計指針などを参考に個別に検討する必要があると思います。
5. 柱頭・柱脚金物	とある住宅会社のマニュアルでは、筋かいのない軸組の柱についても、すべての柱に山形プレート等の金物を取り付けていると聞いたことがあります。構造的・合理的に考えると、筋かいの取り付く柱にだけ金物を取り付ければよいのでしょうか？	計算上要求の無い柱についても金物を取り付ける事は、想定外の状態に対して有効だと思います。
6. 筋かい端部と軸組との取付部	45×90の筋かいを間柱に留めるときには、側面から釘打ちになっていますが、正面から平打ちしてはいけないのでしょうか？	どちらでもかまわないと思います。
14. 勾配屋根水平構面の仕様	屋根の軒先を出さない場合でもひねり金物を取付けたほうがよいのでしょうか？	軒先周辺は跳ね出しが無くても、剥離風によって屋根面が持ち上げられますので、取付けるべきだと思います。棟部に取り付けるのも同様の意図です。